それらも何とかクリアー

まずまずの滑り出

ず、とても熱心に聴いて

告者数ベスト3の科目を 現春学期における履修申 るかを例示する意味で、

に出席しているにも拘ら

(2005年) 8月1日発行 平成17年

### 立98周 年

## 職大学院 年に向け着実に



永年勤続表彰で理事長より賞状が手渡される

坦之、樺澤康夫、小林哲二 勤続者2名(森山幹郎、杉 博、脇本隆之、松田洋、飯 椋田實、田口幸恵、上野貴 村京子)、10年勤続者13名 渋谷龍美、宮崎好惠)、20年 茂、長谷川嗣彦、飯倉道雄 永年勤続者は、30年勤続者 彰が行われ、理事長より賞 朗)の以上24名。 島貴子、川島信也、 (渡辺康夫、白石一郎、星野 兼子正生、有賀幸則、 9名(鈴木康之、柳下崇、 された。本年度の本学での 状と記念品が代表者に授与 続いて、永年勤続者の表 谷澤

本年度からは社会人教育をスタ 学校を開設した。 専門職大学院、 人教育をスタートさせ、

から、現在の駒場に移した。 学園発祥の地である神田に

地に日本工業大学を設置、昭和42年には埼玉県宮代の

開校したことに始まり、昭

市小石川に東京工科学校を

本学園は、明治40年東京

開学以来、

貫して工業教育を追求

東京工業高等学校が設置認 和23年には新学制に基づき

| 業教育を追求してきた。本

現在に至るまで一貫して工

年4月からは、新たに社会

可され、同時に校舎を神田

並びに専門 本

本学の取り組み

## 報

又科省の「特色ある大学教育支援

元共通系教授、村口昌之元 | れ、本学における三氏の多 | やかに幕を閉じた。 をもって退職した竹内淳彦

頭大川陽康理事長より、関係各位への謝辞とともに次のような挨拶があった。 典が開催された。式典には本学園教職員ならびに来賓等およそ300人が列席した。

6月29日(水)14時から、東京工業高等学校アリーナにおいて学園創立98周年記念式

3氏に名誉教授 式典の中で本年3月末日 称号記授与

冒

に名誉教授称号記が授与さ された松木繁元共通系教授 11月24日、病気のため死去

| 園創立98周年記念式典は和 一約2時間の祝宴と続き、 約2時間の祝宴と続き、学その後、来賓からの祝辞、

建築学科教授、並びに昨年 大な功績が紹介された。

## 24 名 速

永年勤続者

表彰

なお8月20日発行の本紙次号で、詳細を特集する予定。 \*\* \*\*応募内容の詳細は、本学ウェブページで公開中の本紙134号2面に掲載

47件が正式に採択された。

全国の大学より410件の応募があり、文部科学省のヒアリングを経て、

体験的実工学教育

取組名「7つの工房によるカレッジマイスターの養成

ノログラム」に採択

みえ、5月21 期生意識が高 園を会場にし コンパを開催 まってきたと バスの屋上庭 日には第1回 した。キャン 学生達も同 度アップと、これまで利用 回の工事は、回線の通信速 工事が進められている。今

望まれている。 に好評だった。今後第2 第3回の開催が待ち 教員も加わり、非常

パーティ」 た「ガーデン

である。 総論」(27名)

屋上庭園を会場とした第1回コンパ

生を神田キャンパスに迎

今年4月に37名の1期

大学院技術経営研究科

村川

重

夫

職大学院だより

好調な滑り出し

全く新しいところからの 経った。何から何まで、 えてから早くも4ヶ月が

である。

内心ほっとしている次第

う最悪事態は発生せず、

て、履修学生数ゼロとい

(タートで、 当初心配さ

勤務を終えた後再び緊張 を持続させて夜間の授業

な科目に関心を寄せてい

学生の皆さんは、

毎日

た面も多少あったが

させ、 学生達には集中力を持続 る。猛暑の中ではあるが 今日からは夏学期に入 頑張ってほしい 食堂、スチューデントセン

クラブ棟周辺など、

からの運用を目指す。

月中に工事を完了し、10月

無く履修申告をしてくれ

学生達はそれほどの偏り

いうものである。

ちなみに、学生がどん

造」(29名)、

いつい授業に熱が入ると

材育成」(31名)、「マー

ケティングと新事業創

紹介すると、「組織と人

くれるので、教員側もつ

のように思う。 用意した履修科目も、

■学内LAN

学内LANのリニューアル 業(申請中)の一つとして、 平成17年度文科省補助事 LANが設置される。 有線で利用するには不向き なエリアについては、 情報コンセントに接続して

無線

となる。また、学友会館、 2号館、3号館)の各教室 置を行うことにより、キャ ンセントが設置され、同時 02教室には新しく情報コ および4号館の401、4 目指すもの。本館(1号館、 教職員へのサービス向上を クの利用を可能にし、 出来なかったエリアに対し に無線LANの利用も可能 ANアクセスポイントの設 て情報コンセントや無線L パス全域でのネットワー 学生 ように考慮されている。 みである。また、 倍以上に高速化される見込 AN配線工事は、近い将来 ット回線速度は、 の相互利用が容易に出来る 電話網とネットワーク網と 導入されるであろうIP電 し全体として、インターネ 光配線により構成されてい 支線部分は100Mbpsの のものを2回線、建物内の 話システムも念頭に入れ、 る。外部接続先を2ヶ所と 現在の3 今回のL

■屋外運動場トイレ

野球のリーグ戦、弓道、ア 動や体育の授業の際、また、 の近くにトイレが無く非常 んに行われている中、「会場 ーチェリーの対外試合も盛 学生の屋外でのクラブ活 り、手が汚れていたりする ついては、汗をかいていた 事を考慮し、ウォ うになる。更に、 試合や練習に集中出来るよ

八便器に

女 シュレ

・屋外運動場トイレ模型 オートバイ置場

ートバイ置場や自転車置場

らは「屋根を復旧して収容 日に至っている。学生達か ここは、平成13年1月の雪| 屋根がないままの状態で今 害で屋根がつぶれ、その後、 イ置場の建設が決定した。 定である。工事は夏休み中 のモデルパターンとなる予 に完了し、秋学期から屋根

共に周りに対して警報サイ から使用可能となる。総工 うにしている。工事は9月 る。なお、夜間は施錠され レンが響くようになってい 警報は警備室につながると| なえて非常警報設備も設置。 費は約2千5百万円、全体 中に完了し、10月の秋学期 不審者等が侵入出来ないよ の面積は約40㎡である。 の要望が前々から出ており、

あるため、周辺住民からバ この度、実現の運びとなっ 置き場は、今後、順次改修 鉄骨製で、屋根も錆びにく うに、背面に壁を設けた。 配慮し、音を遮断出来るよ を隔てたところが住宅地で されるであろう、学内のオ 苦情も出ていた。この点も イク等の音がうるさいとの たものである。また、道路 い材料を採用している。 今回施工するオートバイ

### ■学内無線LANエリア 54 E9 E10 W7 W4 **.** V5 1111 V5 W2 ₩5 W10 E28 E29 イ置場 8 E32 S25 525 527 S=1 S1 楼の広場 凡例 256 25 無線アクセスポイント 提供エリア (\*提供エリア内でも電波の状況によっては使用できない場所もあります。

## 着 と進んでいる。 々と進む学内環境整備

等の

外運動場トイレ、オートバイ置場の3件について紹介する。 今回は、10月の秋学期から使用可能となる学内LAN、屋 学園創立百周年を2年後に控え、学内の環境整備も着々 | 費は約1億5千8百万円。

サーバーから各建物への基 幹部分は回線速度1Gbps 今回設置されるラインは、 声があった。これ 子用には簡単な更 り、工事を進めて といった学生達の 女子用それぞれの リート製で男子用、 置することが決ま 回 衣スペースも設け ブースがあり、 いる。鉄筋コンク に屋外トイレを設 に不便をしている」 野球場の西側

外部には飲用の冷水機も設 で冷水をもらいに行ってい 置される。今までは食堂ま られている。また、 たが、その手間がなくなり、る。更に、 衛生上の配慮もなさ 蛇口も自動栓とす? ット付きとした。 万一の 手洗いの| るなど、 これてい

業として、東門脇のオート (本年度後接会特別事業) 平成17年度後援会特別事

台数を増やして欲しい」と が開始される。工事費は約 付きで照明も設置された快 適なオートバイ置場の利用 1千8百万円である。 、施設営繕課 鈴木功作)

が行われた(本木弘悌講師)。

安全・保安院総合廃止措置対策室長の佐々木文昭氏の講演

産業は効率的活用に徹底し 民生と運輸で増加しており、

学友会館において、経済産業省原子力

6月17日(金)、

長年エネルギー関係の仕事

る。

石油の確認可採埋蔵量

·従事されてきた。 講演は

は約40年、石炭は約200

は52基の原子力発電設備が

力に依存しており、国内で

**一供給では11・6%を原子** 

科の第一期の卒業生であり

佐々木氏は本学機械工学

一費を制限しており、天然ガ

7%、資源別一次エネルギ

般電気事業用)では25・ ている。電源別発電量(一

スの使用量が多くなってい

### 過去最高の出展者・来場者 NEW環境展2005



改善などについて"向上"と

| 共同④エコ・ミュージアム

の具体的展開の始動⑤学内

項目、「ISO14001

2

行で5項目について指摘を 004年度版」規格への移

今後、

環境整備⑥部門の特徴を生

《審査所見の概要》

有効性、目的・目標の達成、

連科目による教育②見学

金による研究成果、環境関

上⑦学生EMSとの連携、 かしたパフォーマンスの向

INIT エコロジー

を期していきたい。

①環境分野研究奨励助成

を受審し、本学のEMSの

出展等の積極的なコミュニ 特別講演会の開催、環境展 会·視察、講演活動、環境

ミュニケーションを図

いること等々。

ケーション③地域との連携、

日間、サーベイランス審査

6月30日・7月1日の2



5月24日から27日にかけて、 NEW環境展が東京ビックサ イトで開催され、4年連続で 本学も出展した。今回の出展 者数は549社(内26大学・産 学連携)、来場者は15万人を ともに過去最高となっ

本学の展示ブースでは、佐 藤茂夫研究室、丹澤祥晃研究 菅原和士研究室の研究成 果を中心として、社会・地域 との連携、学生環境推進委員 会活動報告など、全学的な取 り組みについても展示が行わ れた。他大学のブースよりも 多くの人で賑わい、学生スタ ッフが熱心に対応していた。



毎月、学生 自治会では体 育会本部が中 心となって定 期清掃を行っ ている。今回 初めて、その 清掃に教職員 も参加した。

6月21日(火)17時、30余名の教 職員が集合。3班に分かれて、 スタートしている学生たち



清掃に加わった。

ら始まり、「喫煙者と非喫煙 うした状況を踏まえ、講演 の問題に対しては、社会的 らいたい。」と語った。 ある問題を選んだので、 拶の中で「みなさんの身近に 子工学科4年)は、開会の挨 は「分煙への取り組み」 後の環境活動に役立てても 近年、学内に限らずたばこ 関心が高まっている。

会」が誕生した。今回の講演 独立した「学生環境推進委員 れていたが、今年度からは 案し講演するまでに至った 委員長の宮川雄統君 (電気電 全て自分たちで企画立

### ■ 学内見学一覧 (入試室)

また、現行のEMSで3

オープンキャンパス以外にも、本学は随時見学を受け入れてい ます。4月以降の学内見学は下表の通りです。

プレス」などで情報発信を

V,

学内外との良好なコ

NO	月1	H	対象	学校名	参加者
1	5月7	H	3年生	栃木県立小山北桜高等学校	6名
2	5 月21	H	中学1年生、 保護者	日本工業大学付属中学校	155名
3	5月27	日	3年生	埼玉県立浦和工業高等学校	14名
4	5月27	日	3年生	千葉県立千葉工業高等学校	15名
5	5月31	H	2年生	川口市立総合高等学校	23名
6	6月10	日	2·3年生、 保護者	埼玉県立春日部工業高等学校	38名
7	6月17	日	2年生	群馬県立太田工業高等学校	40名
8	6月25	日	2年生、 保護者	安田学園高等学校	20名
9	7月5	日	保護者	埼玉県立三郷工業技術高等学校	25名
10	7月7	日	2年生	群馬県立館林商工高等学校	40名
11	7月8	H	2 · 3年生	埼玉県立三郷工業技術高等学校	80名
12	7月12	日	2年生	群馬県立館林商工高等学校	40名
合	計				496名

### 今年初のオープンキャンパスは盛況

7月16日(土)、今年最初のオープンキャンパスが開 催されました。多数の高校生や保護者の方々のご参 加をいただき、数々の催し物も好評でした。

次回は8月20日(土)開催。より多くの皆様のご参加 をお待ちしております。

## オープンキャンパス

 $8_{\text{p}}20_{\text{H}\,(\pm)}\cdot 10_{\text{p}}22_{\text{H}\,(\pm)}$ 

施設・研究室見学、模擬授業、SLの運転など、 楽しい催しを沢山用意しています。

## 本学で先端技術研究の

海外に依存している国とし 本のように、エネルギーを 課題解決は急務である。日

(日本工

▶大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程 \*機械工学専攻 \*電気工学専攻 \*建築学専攻

\*システム工学専攻 \*情報工学専攻 ■平成18年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

- 1 /50	.012 /13/70	1111	(100)	3/A/ (D-V III 1II
		日	程	
	受付期間	面接試験	合格発表	手続締切
一次募集	平成17年9月21日~29日	10月5日	10月14日	平成18年1月27日
二次募集	平成18年2月14日~21日	2月28日	3月4日	平成18年3月10日

大学院入試係 お問い合せ先:教務部教務課

TEL 0480-33-7507 URL http://www.nit.ac.jp

### ■日本工業大学 平成18年度入試日程

出願方式	日 程					
山积万式	出願期間	試験/面接	合格発表日	入学手続締切日		
推薦入学	9/26(月)~		10/15(土)	第1回目10/31(月)		
A方式	9/30(金)			第2回目 1/16(月)		
推薦入学	8/29(月)~	9/24(土)・9/27(火)	10/15(土)	第1回目10/31(月)		
B方式(第1回)	9/27(火)	~10/1(土)のうち1日		第2回目 1/16(月)		
推薦入学	11/21(月)~	12/10(土)	12/17(土)	第1回目12/26(月)		
B方式 (第2回)	12/3(土)			第2回目 1/16(月)		
AO入試	10/17(月)~	11/12(土)・11/	11/21(月)	第1回目12/2(金)		
(第1期)	11/4(金)	13(日)のうち1日		第2回目 1/16(月)		
AO入試	11/25(金)~	12/10(土)・12/	12/17(土)	第1回目12/26(月)		
(第2期)	12/5(月)	11(日)のうち1日		第2回目 1/16(月)		
AO入試	2/20(月)~	3/4(土)	3/10(金)	3/17(金)		
(第3期)	2/25(土)					
一般入試	1/6(金)	2/12(日)全学科	2/21(火)	2/28(火)		
	~2/4(土)	2/13(月)全学科				
		2/14(火)全学科				
		(受験日自由選択制)				

ギーベースでのエネルギー 込まれている。一次エネル 展途上国での消費が増加し 需要は石炭が最も多く、 インドの消費量も増加が見 ており、人口増加が著しい アジア、特に中国が増加し -ルショック後は石油の消 世界のエネルギー消費は オ ある。 ઇ 年と言われているが、埋蔵

グローバルに考える必要が 費はオイルショック以降、 部門別の最終エネルギー 量の正確な把握は困難であ 日本のエネルギー事情は、 有限資源の有効利用を

と中国から輸入している。 い数字である。石油は88% を中東に依存しており、石 炭は75%をオーストラリア リカ、フランスに次いで多 LNGは消費量が年々増加

運転中であり、これはアメ OP3(気候変動枠組条約 与率が最も高い。日本はC 削減である。CO゚は地球温 の目標を6%としているが、 暖化への温室効果ガスの寄 議)での温室効果ガス削減 第3回締約国会議―京都会

環境問題の観点からも

について立ちえる 機械工学科 第1期生)

環境問題についてであった

後半はエネルギーと

事

講演の要旨は次の通りであ

前半が世界と日本における 明していただいた。内容は を用いて、わかりやすく説 レジュメと豊富な視覚資料

地球環境と産業・社会 【特別講演】

エネルギー利用の現状につ

原子力安全・保安院 佐々木文昭氏 経済産業省

一のが二酸化炭素(CO²) ルギーを多様な方法で確保 問題として注目されている することが大切である。 今日、グローバルな環境 0 が見込まれている。 で削減目標のうち1・6%

たばこのマナー

棄物などであり、太陽光発 いるのは太陽光、風力、廃 げられている。新エネルギ 換・原子力発電の推進があ 対策として、省エネルギ 電の発電量のうち日本は さらにCO<sup>2</sup>排出抑制4大 の主力として期待されて 新エネルギー・燃料転

45%を占め、 発電量世界1 6月4日 (土) 13時30分か よる第4回ISO講演会が 学生環境推進委員会主催に

進めるかが課題となってお 有効な資源の利用と開発を 量を、いかに抑制・削減し、 ギー事情は増え続ける消費 位である。 とのように今日のエネル 年度まで学生自治会の各代学生環境推進委員会は、昨 動と兼務という形で組織さ 表者が自分たちの委員会活 社社会環境推進室部長平野 ら3-325教室で行われ マナーについて」。講師に、 芳典氏を招いた。 JT日本たばこ産業株式会 講演題目は「たばこの

削減目標達成取組計画にお 権を売買することができ、 には、温室効果ガスの排出 にある。削減率のカウント いて排出量(権)取引など った。 学生主催によるISO講演会

リティーの観点から、エネ

してはエネルギー・セキュ

59%を輸入している。

国と

佐々木氏は講演を締めくく 取り組む必要があるとして、 ては、積極的にこの問題に

する側からのアドバイスと、 日工大生として胸を張って けて就職活動における採用

最後に、

同氏は学生に向 輩へエールを送り、 社会へ進んでほしいと、 終了した。 講演は

### 一と非喫煙者が共存できる社 会を実現したいということ 促す表現になっていることを を ■学内見学会・視察の受け入れ

会貢献活動」といったこと 者の意識の違い」「JTの社

イラストが示された。

に「気づき」「考え」「行動

が説明された。

広告について、身近な喫煙シ ーンをキャッチフレーズ

講演の中で、新喫煙マナー

訴えた。

最後に、

( ,たばこを持つ手は、 子供

で、講演を締めくくった。

見学会・視察は、多様な方々と直接コミュニケ 絶好の場と考え、積極的に開催、受け入れを行っている。太陽光 発電・風力発電システムなどの環境施設、環境保全活動などを 見学するため、ISO-5年度(平成16年10月~平成17年9月)は現在 までに24件(内海外より3件)784名が本学を訪れている。

年,	月日	見学·視察者
	10月25日	リコー(4名)/成田教授授業(40名)
平成16年	10月26日	中国北京市(11名)
	11月1日	成田教授授業(40名)
	11月15日	小竿講師授業(学友会館空調)(40名)
	12月7日	台湾(2名)
	12月10日	笠原小学校(120名)
	12月14日	信州大学教員(2名)
	1月26日	住友電工(株)(2名)
	1月27日	モンゴル (4名)
	2月16日	箕輪町長、箕輪工業高校(21名)
	3月18日	油空圧工業会(14名)
	4月11日	大東文化大学教員(2名)
	4月13日	中国北京市(4名)
	4月26日	(株)坂本製作所(2名)
	4月27日	中央電気工業(株)(2名)
平成17年	4月28日	川村研究室(13名)
	5月2日	宮代町教育委員会(150名)
	5月2日	小山北桜高校(7名)
	5月21日	付属中学校生徒、保護者見学(160名)
	5月22日	後援会総会一般会員(80名)
	6月7日	TDK(6名)
	6月20日	千代田計装(株)(6名)
	6月25日	安田学園(30名)、後援会理事(20名)
	7月2日	京和住設(株)(2名)

2年程前に設定されたもので、

要は次の通りである。 マの基礎研究であり、その概

「気液相変化」とは、

る。

専門家育成を支援するために 断」である。同賞は、若手

ボットをつくろうというテー

相変化アクチュエータは、

と作動流体が納められ、気液

ローズ内には、ヒーター ■、長さ29・5 ■。ベ

7・8 ㎜、内径3・0

ローズの大きさは、外径 れている(図参照)。

内部から腫瘍等を切除する手 ロボットを送り込み、身体の ば、大腸内に医療用マイクロ

術が可能になる。そうすれば、

リンダガイドに納められてい

を含めた口頭発表の的確さな

本鉄鋼協会から横谷教授に

山

報メデ

イア学会から

磯野

エ

1

械学会の講演で、優秀な若

に九州で開催された日本機

手講演者としてフェロー賞

を受賞した。講演のテーマ

-タ駆動による生体高速切

「気液相変化アクチュエ

研究室所属)が、3月11日

クチュエータは、ステン

研究がさらに進み、今後実用 も、未開拓の分野である。本 療工学分野を扱うという点で

化されれば、人体の中、例え

レス製ベローズとヒータ

作動流体から構成さ

小腸を切断する。本実験

使用した気液相変化ア

泉俊之君(本学付属東京工

- 学専攻1年生(当時)の

本年3月大学院システム

業高等学校出身・加藤重雄

# 本学機械工学科横谷真

された。 進してきた功績が評価され 今回の受賞は、日本鉄鋼協 用旋回流ノズルの開発とその 主査を務め、共同研究を推 ター創出研究会で、4年間 的高効率混合・分離リアク 移動現象を研究しているが、 実用化に貢献した成果が評価 会高温プロセス部会・革新 共同研究賞(山岡賞)を受賞 本鉄鋼協会から平成16年度 ソロセスにおける熱・物質 郎教授は、このほど(社)日 た。同教授は、長年製鋼

鋳造速度と鋳造内流動の偏りの度合いの関係

製品の質を惡化させていた。

かも、生産性を高めようと

固相への混入などが起とり、

造される(図参照)。

一尊敬と感謝の意を表して授

与される。フェロー選出制

(せんてつ)をつくる。 でコークスと石灰石を用いて よそ次の様になる。まず高炉 還元反応で鉄鉱石から銑鉄 22.0 20.0 流れ16.0 流れ16.0 の不平衡12.0 4.0 2.0 0.0 z 銅の不良指数 0.4  $\Sigma$ 旋回流ノズル

での脱炭反応を中核とする 種々の冶金反応を通じて純度 対策として電磁流体力学を応 鋳造速度を上げる程、鋳型内 流動の不安定性が加速。その

泉俊之君が優秀な若手講演者として、

日本機械学会フェ

口

ー賞を受賞

どの極限環境で稼働できる

が近づけない高温、高圧な

口ボットは、人間や生物

ことから、軍需、

から気体に変化する際に体積

が膨張する現象で、例えば、

が進み、活用されてきた。

しかし、この様に気液相変

宙開発等様々な分野で開発

水が気体になると体積は10

象者の20人に1人か、それ以 どが厳しく審査され、表彰対

下が選考される。

化というメカニズムを利用し、

を利用してアクチュエータ 00倍となる。 この体積膨脹

学の加藤研究室のみが行っ 化で動かすロボットは、本

(機関=エンジン)を動かし、

これを駆動源として小型

際、本研究は電気工学、機械 ているユニークなもの。実

前期課程2年の宮本祐也君

大学院機械工学専攻博士

(埼玉県立川越工業高校出

身·指導教授長坂保美助教

工学の境界領域に位置し、

医

ハサミを操作し、豚の

泉君の講演は、気液相変

身体の中に医療用マイクロロ

革新的高効率混合・分離リアクターの開 鋳造機で固め、板状、 って鋳型内に注入して、連続 ノズルによ る。

鉄の製造工程

鉄を製造する工程は、お

加工し、製品が出来上がる。 不純物巻き込みや不純物の凝 の乱れ、渦の発生などにより、 ル吐出流変動、鋳型溶鋼表面 ら鋳型に注入する際に、ノズ る。従来は、溶鋼をノズルか 鋳造機に送り込むノズルであ そのうちの一つが溶鋼を連続 プロセス革新を目指してきた。 動状態での冶金反応を特長と し、同教授は流体工学による 現在の製鉄プロセスは流 ノズルは連続鋳造の鍵 鋳造では従来方法と比較し、 法によると、特別な投資を必 2002年に実用化。 この方 発は、住友金属工業(株)、 要とせず、例えば広幅スラブ 回流ノズル」製鉄技術として で進められ、「連続鋳造用旋 黒崎播磨(株)との産学連携 制御する方法を考案した。開 級鋼が安定的に低コストで製 え、鋳型内の熱・物質輸送を 不良率が約8%改善され、高

z 鋼の不良指数

中であり、今後が期待される。。 ェロー認定証ならびに記念 との共同研究でさらに新しい プレベルにあるスウェーデン 高級鋼の製造プロセスを開発 同教授は、製鉄ではトッ もの費用を必要としたのであ りの鋳型内流動制御に10億円 行っていたが、ノズル一本当 電磁石で鋳型内の流動制御を 8 tから10 tの巨大な

エネルギーを利用し、下方に **流下する溶鋼に旋回運動を与** 同教授は、13年前に位置

| ディアに関する学術および 産業分野の発展・普及・振 の称号を授与された。 と認められる会員に、深い 興あるいは学会事業の発展 メディア学会からフェロー に対して、特に貢献が高い ビジョンを含む映像情報メ フェローの称号は、テレ このほど(社)映像情報

一ので、今年は7名が選出さ 度は5年前から始まったも

情報工学科磯野春雄教授

的に1946年に設立した 発明の父である故高柳健次 連の学理、技術の研究等を目 郎博士が、テレビジョン関 メダルが贈呈された 同学会は、テレビジョン

1 9 5

0年にテレビジョン学会と

第5回通常総会においてフ れ、6月4日に開催された 高橋茂寿君が「電子ペーパー」の

春雄教授にフ が評価されたものである。 フェローの称号授与は、 口 0)

別なメガネ無しで立体映像 を見ることができる新しい

レビジョン学会へと改組し、 改称、1955年に(社)テ

在会員数は約6800名。 1996年に(社)映像情報 メディア学会と改称した。現 磯野教授は、学生時代か

年にわたる同学会への貢献 活動を続けている。今回の ら同学会に加入、35年以上 同教授の研究室では、特

3D映像システム、高齢者

野でも人間工学的な見地か 活発化しているが、この 呼ばれる技術分野が急速に と応用の研究を行っている。 最近では、電子ペーパーと いて研究を進めており、

長

テレビジョン同好会に端を

後が楽しみである。

覚特性の究明など、人間と や障害者に見やすく、聞き ついての研究、人間の視聴 やすいテレビ映像や音声に

情報メディアに関する基礎

した場合の視覚疲労等につ 宮本祐也君 日本設計工学会で 優秀発表賞受賞

> 受賞に至ったものである。 の成果が認められ、今回の たらしており、これら一連 上や普及に大きな貢献をもム板のプレス加工技術の向 これらの成果はマグネシウ

発している。その後、 メダルの図案は、高柳博士が1926 年に世界で初めてブラウン管に映 し出した「イ」の字の映像

読書後の視覚疲労に有意な

一賞した。 から「学生優秀発表賞」を受 (社)映像情報メディア学会 論文「電子ペーパーで読書し 授)が、昨年12月に発表した 校出身・現宮城県米谷工業高 校教諭·指導教授磯野春雄教 茂寿君(宮城県気仙沼向洋高 専攻博士前期課程修了の高橋 本年3月大学院情報工学 このことから電子ペーパ 変化は認められなかった。 は文庫本と同様に目に優しい

現在行われている様な外科手 なる進歩がもたらされること 様な若い研究者により、さら 減されることになる。泉君の 術によるダメージは大幅に軽 (リアルペーパー) で読書し た場合、目の疲れはどう違う を用いた電子ブック・リ ーで読書した場合と、文庫本 本論文は、電子ペーパー

研究で学生優秀発表賞 前に比べて、読書中および で読書した場合でも、 結果90分以内なら、どちら 学生13名を対象に実験した

た場合の視覚疲労の測定」で、め、本研究ではソニー製の電 用いた。同リーダーは、A5 子ブック・リーダーを実験に 論に達した。 だ実用化された例は少ないた 方式が提案されているが、ま 版、厚さ2㎝程度の大きさ ディスプレイであるという結 電子ペーパーには種々の

> 発表会で優秀発表賞を受賞 た日本設計工学会春季研究 授)が、昨年5月に行われ

した。発表は「機械設計教

えられる等、従来の書籍には に、最大500冊の内容が入 実用化に向けて、更なる開発 ないメリットも多く、本格的 る。文字の大きさも5段階変

> 独自のアイディアが詰まっ り、院生での受賞はまれ。 学の研究者を対象としてお したもの。同賞は企業や大 械設計の講義をシステム化 コンピュータを利用して機 材支援システムの開発」で、

た秀逸な内容と独創的な発

## たがり、 や力学、 須嵜 直史君 日本繊維機械学会で 学術奨励賞受賞

きた。これは他大学でも問 るのは非常に困難とされて 学生一人ひとりに理解させ これを現場の経験則と共に 製図など多岐にまれ

3度目。設計を行う上で必 ら、企業からも必要とされ 先生方から賞賛された。 機械設計の教育改善に寄与 今後もその独創性を活かし、 る非常に優秀な人材である。 要な知識、経験の豊富さか 講演における受賞は同賞で 表の明確さにも定評があり、 発を行っている。また、発 つの視点から今回の研究開 学生、教員、設計現場の3 題であり、同発表は多くの することが期待され 験もあり、これを活かして 宮本君は企業での 設計経 |35歳未満の研究者を対象と している。 |手研究者セッション」は、 | 学術奨励賞を受賞した。 「若 | 者セッション」において、 損失に関する研究」。 質焼結体の最大孔径と圧力 回研究発表会の「若手研究 が5月26日に開催された (社) 日本繊維機械学会第58 身・指導教授兼子正生教授) (本学付属東京工業高校出 前期課程2年の須嵜直史君 テーマは「金属繊維多孔 大学院機械工学専攻博士

を製造し、焼結体の目付量、

君は実際に同素材の焼結体

強度を有する機能材料とし 優れた高温耐熱性と機械的 ステンレス鋼繊維焼結体は

今回須嵜君の扱った耐熱

て注目を集めている。須寄

行い精密フィルター特性の 孔径と圧力損失等の測定を 繊維換算直径等による最大

多孔質焼結体を用い、耐熱 研究の目的は、金属繊維 検討を行っており、これが

古閑伸裕教授が「マグネシウム板のプレス加工」で 天田財団から優秀賞を受賞

# を受け、数々の研究を行っ 積9億9千万円超の助成を も、大きな効果が期待され 88件の研究テーマに、累 減や環境改善などに対して

古閑教授も同財団の助成

板のプレス加工」の開 を受賞した。 技術振興財団)から、 称•(財)天田金属加工機械 により、天田財団 は、このたび「マグネシウム 機械工学科古閑伸 研究成果 E裕教授 正式名 優秀賞 果が、5月25日~27日に開 れた、第3回天田財団助成 春季講演会と併設で開催さ 催された日本塑性加工学会 ム板のプレス加工」の研究成 てきたが、今回「マグネシウ

れていた。

古閑教授は前記助成を受

レス成形性が悪いことから、

ルミニウムなどに比べ、プ ウムやその合金は、銅やア ている。しかし、マグネシ

これまではその用途が限ら

基礎的・応用的な技 加工に必要な機械に 以来、18年間にわた に寄与することを目的に、 を図り、もって我が 工機械に関する技術の向上 業および経済の健へ わる助成」を通じて、 にその関連技術の研究に関 同財団は、「金属等の塑性 主な発展 が国の産 が術並び に関する 塑性加 り、 6 るようになれば、軽量化に くの機器に大量に利用され る材料である。この材料が多 演発表され、4件の優秀賞の よってもたらされるCO。削 て、現在最も注目されてい うちの1件に選ばれたもの。 向上のための構造材料とし 研究成果発表会において講 軽量化や電磁波シールド性 バソコンなどの各種機器の マグネシウムは自動車や

> 上げ、一連のプレス加工に 礎的・実用的な研究を積み 工における潤滑に対し、基 げ成形性、およびこれら加 深絞り・張出し成形性、曲 やその合金のせん断特性、 け、これまでマグネシウム

関する実績をあげてきた。

温耐熱性と優れた機械的強なるためフィルターには高 度が要望されてきている。 高圧力下での濾過が必要と 環境問題などから、機器の 性などに優れた精密フィル 高性能化が要求され、それ ターを開発することにある。 に伴い今まで以上に高温、 現在フィルター業界では、

学内見学で、最新設備の説明を受けるOB(昨年の様子)

パーティーを前に参加者全員で記念撮影(昨年の様子)

今後の主な学生行事

に是非、積極的に参加してほしい(学生課)

夏から秋にかけて行われる主な学生行事

前期試験最終日から2日間行われる。体育館前に組

み上げられた櫓の周りで、盆踊りや浴衣コンテストな

第5回 日本工業大学 ホームカミングデー

第 6

ームカミングデ

本学卒業の

現職教員

0)

●日

平成17年9月17

 $\exists$ 

講師

(有

の取り決め」に基づき来学

学との「学術交流について

 $\exists$ 

華中科技大と本

李凱さんと朱文傑さんが、

しての生活を送る

6月17日には、クウェ

催

華中科技大学・クウェートより

した。李さんはシステムエ

(土) 午後2時~5時

取締役社長

辻谷政久氏 辻谷工業代表

・同氏は、

国際規格の

学科星野坦之教授、朱さん

後、本学学生と学内を見学 中隆治助教授による講義の 来学。学修支援センター田 トから10名の学生と教授が

/目的

同 回

窓会)

ムカミングデー実行委員会 開催のお知らせ

(同窓会)

# 学修支援センター近況報告(6月) 相談員を増強し、さらに充実

る支援活動がある。

いわゆる5月病が現れる

からの出席状況の報告を受 ターの業務として、各学科

長期欠席の学生に対す

見かけるようになった。 つつあるようで、生き生き した学生の姿をたくさん 年生も大学生活にだい 親しい友人もでき 修支援センター ところで、学

ての相談が中心になってき くなり、教科の内容につい 学生も4月のころの不安げ 相談にくる姿は見かけな 学修支援センターに来る しっかり自分の学習計 生活に関するあ でいるとか学生 路について悩ん 請求がきて困っ 身に覚えのない ではチューター による学習相談 ているとか、 だけではなく、 進

談員が着任し、月曜から金 曜まで毎日相談を受け付け 生相談室に新たに2名の相 たっている。5月からは学 携を密にし問題の解決に当

挑戦する学生もセンターを

定期的に利用している。

の来訪があった。

タイルも定着しつつある。 学習指導を受けるというス 画をたて、決まった時間に

目分の夢や目標に向かって

ることができるようになっ より専門的な相談にも応じ られるようになったため、 もう一つの学修支援セン

生課などとの連 け、教務課や学 らゆる相談を受

昼休みや放課後を中心に、毎日多くの学生が相談に訪れている。

講じている。 思いで、あらゆる手だてを きっかけに学生の気持ちの 探っている。学生の生活様 生が増えてきている。セン ため、連絡を取ることは困 式は非常に多様化している 連絡を取り、状況確認とど ターではこのような学生と 時期から休みがちになる学 転換の糸口ができればとの 難を極めているが、これを のような支援ができるかを

うなので、スタッフ一同広 ない学生がまだまだ多いよ の存在や役割を理解してい 報活動にも努めている。 なお、学修支援センター

(学修支援センター)



は、慎重審議の上、全て承 予算」、「理事・監事の銓衡」 度事業計画」、「平成17年度 告·同監査報告」、「平成17 告」、「平成16年度決算報

総会は無事終了し

懇親会も行われた。

本部(北海道)

札幌市

会終了後には、

学内見

知花賢良(沖縄) 今井潔志 (岐阜)

■平成17年度 地域別教育懇談会開催日程 (予定)

竹村美喜雄(埼玉) 佐伯みち子(東京) 新渡戸道久(青森)

昨年11月20日(土)に実施されたラリーに

第9回スターリングテクノラリーが、 成17年11月19日(土)に、今年も本学で 開催される。昨年は北は北海道から南は 岡山まで、ほぼ全国から集まった約200チ ームがスピードを競った。今年は新たに ーの宙返り競争や、乾電池 -部門を新設して、 加を待っている。 本大学も今年は 人間乗車タイプに出場する ための準備を進めている。 まだ募集中な ので多くの方の参加を期待している。

定期総会が開催された。

議事は、学長並びに後援

会長

窪田政幸(兵庫)

副会長 梅宮

昭

大場信夫

(神奈川) (福島) 時より、大学学友会館ホ

去る5月22日(日)午後

理事・監事銓衡の結果、

ルにて平成17年度後接会

115名、監事2名。 平成17年度の後援会理事は

執

対象地域

部は次の通り承認された。

後援会だより

総会報告と地

域別

教育懇談会日

長を議長に選出して進行し 会長の挨拶の後、中島副会

議案「平成16年度事業報

岩本由紀夫(神奈川 早坂正実(宮城)

### 第9回スターリングテクノラリ

は200チーム以上が参加。難易度の高い「宙返りコース」も設置された。 認され、

立磐梯青年の家」で行う予定。

今年のテーマは"百花斉放~花から華へ咲き誇れ~ に決定。現在、大学祭実行委員会が例年よりさらに盛 り上げようと企画中だ。中でも、"秋のかさぁと"や"美男子コンテスト"は必見だ。 "秋のからっ風こん ゃ

11月4日(金)~6日(日)

8月3日(水)~4日(木) 夏祭り大会

8月7日(日)~9日(火)

9月11日(日)~13日(火)

ど様々なイベントが開催される。

体育会フレッシュマンキャンプ

文化団体連合会フレッシュマンキャンフ

体団と文団に所属している1年生を対象に普段のク

ラブ活動だけではなく、他のクラブとの交流を図るた 今年も、体団は「赤倉山荘」、文団は「国

 $^{-3}3^{-7}744$ 

校をご記入の上、FAXま 卒業年度・学科、勤務先学 ◆参加申込 E-mail kaki@nit.ac.jp たはメールでお申し込みく 住所、

話に関するトークを交え、 ◎ 懇親会 コンサートを開催中。

ター (電話 教育研究所・教職教育セン ◆主催 日本工業大学工業 7 7 3 7 F A X 0480 - 330 4 8 際交流課)

氏名、 ラロンコン大学との研究打 教授(学修支援 (4/17~25) /目的=チュ 工学科)/出張先=タイ ◆星野坦之教授(システム 講義他◆田中隆治助 セン

的=提携校イリノイ大学シ

ス (6/18~25)/

目的=

Energy Conversionにお Heat Mass Transfer and on Multiphase Flow, 5th International Symposium 2~6)/目的=ISMF '05

他、

座談会の収録があり、

理事長・学長・木村工業教

の「感性と教養」には、その 計6回開催しました。今回

ける論文発表

部大臣の有馬朗人先生、 育研究所長(当時)に、元文

ーベル化学賞を受賞された

カゴ校における学術交流に

実施された。毎回多くの学 血液センターによる献血が る本学の献血であるが、 教職員の協力を得て

第6回ホームカミングデ

が大学祭開催期間中の11月5日(土)

に開催されます。卒業後10年・20年・

30年の方にはご案内を発送いたしま

ィを企画しておりますので、皆様お 誘いあわせの上ご参加ください。

就いています。全国的に多校・高等学校などで教職に

一の現職教員の集い」を企画

員が集まり、各地区・学校 しました。全国の同窓の教

> 線) 下車 [A4] 出 半蔵門線、銀座線、千代田

口より

フリーの教育をめざして\_ ◎手話コンサート「バリア で金銀銅メダルを独占した。

本学の手話サークルとと

シャンソン歌手

生が、全国の小学校・中学

現在、千余名の本学卒業

教員の皆さんの研修の一助

17 | 58

表参道」(東京メト

 $\Box$ 

にと、「日本工業大学卒業生

教職教育センター長

原田

昭

ン青山 ◆場所

東京都港区南青山4-

ランタ・シドニー・アテネ 丸」製作の第一人者。アト

指導下で一年間、研究生と

は情報工学科石川孝教授の

昼食を共にし、

交流を深め

オリンピックと3大会連続

11

開

催ご

案内

た見識や行動力が求められ 員には新しい時代に対応し 様な教育改革が進む中、

換を図り、交流を深めたい の教育課題について意見交

> ◆ 参加費 徒歩5分

【プログラム】

と考えています。どうぞ奮

◎講演会「わが国のものづ

手話を広める)

朝倉まみ氏(歌をとおして

くり教育について」

学校や社会福祉施設等で手

同氏は、全国の小中高等

ています。 そとで、

本学卒業の現職

ってご参加ください。

◆大久保恵課長 事異動 (6月30日付)

(総務部国 05カナダ研修所修了式及び 指導及びカナダの多文化教 米国(4/30~5/6)/目 席◆柳澤章学長/出張先= LCCコンボケーション出 中学生海外派遣事業の現地 (4/25~5/3)/目的= 務部)/出張先=カナダ 育の実践◆藤田則夫部長(総  $\widehat{4}$ /26~5/6)/目的= 、出張先=カナダ

## 献血について

にて、本年度最初の赤十字 6月9日(木)、体育館前  $\Rightarrow$ 4 0 0 名、そのうちの273名が 月に実施される予定。 回は採血者の総数が298 に行われるもので、次は11 この献血は、毎年春と秋 m 採血に協力した。

研究科)/出張先=スロベ 表◆横谷真一郎教授 Simulation 2005以と 的=スロベニア共和国技術 ◆松野建一教授(技術経営 工学科)/出張先=フラン 発学会) Modeling and IASTED(国際科学 コ 工学科) /出張先=メキシ ◆加藤重雄教授(システム 庁からの招待による講演等 ニア (5/3~11) 5 /16 /22 / し論文発 <del>-</del>技術開 目的| (機械

術交流に関する協議◆川島 先=米国 5/6)/目的=提携校イ 6) /目的=提携校イリノ る学術交流に関する協議 リノイ大学シカゴ校におけ 出張先=米国(4 信也事務職員(総務 (電気電子工学科) イ大学シカゴ校にお 4 30 譲) / 5 ける学 | | 30 出張 第3回非 RELIABIL TY CONFERENCE EUROPEAN SAFETY & 可能性に関する日米シンポ ◆山地秀美講師(情報工学 ジウムにおける論文発表 (6/26~7/2)/目的= 、出張先=ポーランド 21 破壊評価の応用と 25

表◆丹澤祥晃助教授(機械工 Technologyにおける論文発 Conference on Education and 学科)/出張先=中国(7/ 2~8)/目的=International 科)/出張先=カナダ(7/ ◆石川孝教授(情報工学 2005における論文発表

> EI) があるのではないか の原点に〈感性〉(KANS

パネリストに平成15年まで という視点で著名な方々を

平 成 10 は、「ものづくり」「独創力」 たものです。本フォーラム 創立90周年記念事業として 一感性フォーラム」をまとめ 編集 年にスタートした

後記 平成15年2月出 日本工業大学編に 力」に続いて学園 より、 した「感性と独創 版されています。 感性と教養」が出 現在、 丸善㈱から 学校法人

9月3日(土) 蔵王支部 山形市 オーヌマホテル 山形県・宮城県 秋田県支部 秋田市 協働大町ビル 秋田県 9月4日(日) 栃木県支部 宇都宮市 ホテル丸治 茨城県支部 筑西市 つたやホテル 茨城県 マーキュリーホテル 前橋市 群馬県 北陸支部 メルパルク金沢 金沢市 富山県・石川県・福井県 山梨県支部 春日居町 ホテル春日居 山梨県 千葉県支部 千葉市 プラザ菜の花 千葉県 福島県支部 9月10日(土) 郡山市 清稜山倶楽部 福島県 9月11日(日) 青森県支部 青森市 青森グランドホテル 青森県 佐久平プラザ21 長野県支部 佐久市 長野県 広島グランド 西中国支部 11 広島市 広島県・山口県・島根県 インテリジェントホテル 津山市 東中国支部 津山国際ホテル 岡山県・鳥取県 9月17日(土) 岩手県支部 花巻市 岩手県 未定 9月18日(日) 沖縄県支部 那覇市 琉球サンロイヤルホテル 沖縄県 愛知県・岐阜県・三重県 東海支部 名古屋市 名古屋市民会館 新潟県支部 長岡市 長岡グランドホテル 新潟県 大阪府・兵庫県・京都府 近畿支部 近江八幡市 ホテルニューオウミ 奈良県・和歌山県・滋賀県 9月24日(土) 本部(九州) 福岡市 サンライフホテル1 九州 9月25日(日) 静岡県支部 静岡市 静岡商工会議所 静岡県 本部(四国) 高知市 ホテルサンルート高知 四国

10月2日(日) 東京都・埼玉県・神奈川県 本部(近県) 大学 ※開催日及び会場は、都合により変更となる場合があります。詳しいご案内は各支部(支部のない地域は本部)より各会員宅に郵送されますので、そちらでご確認ください。

ホテルサンルート札幌

北海道

5th European Continuous 論文発表◆梅崎栄作教授 張先||米 における 緊急報告

本学では全館でアスベスト

/出

を使用しておりません。 お願い申し上げます 感性について語っていただ いています。 野依良治先生をお招きして 是非ご一

◆環境配慮の観点から再生紙を使用しております。

 $\widehat{\mathbf{F}}$